

**平成 15 年 8 月 利用実態調査速報
アンケート調査集計**

1. 調査の概要

大台ヶ原の来訪者を対象としたアンケート調査を実施した。

調査日：平成 15 年 8 月 16 日（土）、17 日（日）天候：雨

調査場所：駐車場周辺、宿泊施設等

2. 集計結果

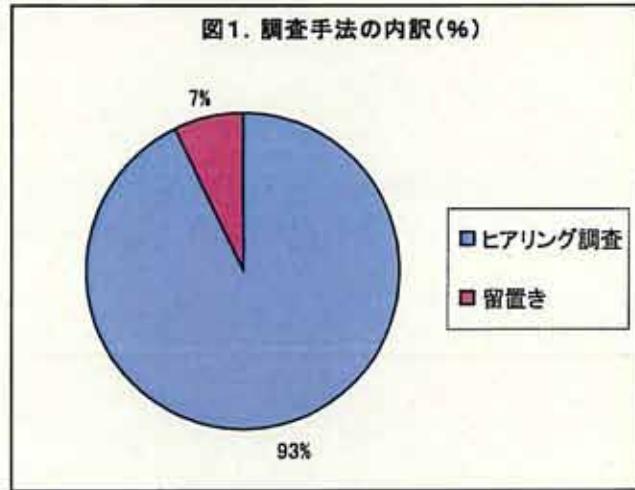
（1）有効回答票数

有効回答票数は 168 票で、そのうち、駐車場周辺で調査員が面接しながら記入したもの（ヒアリング調査）が 156 票、宿泊施設等に留め置き記入したもの（留置き）が 12 票であった（表 1・図 1 参照）。

表1. 調査手法の内訳(票)

形態	16 日	17 日	合計
ヒアリング調査	115	41	156
留置き			12
総計			168

図1. 調査手法の内訳(%)



(2) 基本属性

1) 居住地

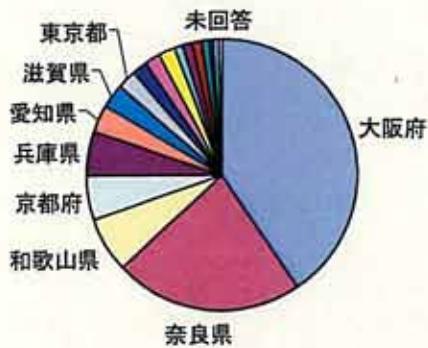
有効回答者の居住地を都道府県別に集計した結果を示す（表2・図2）。大阪府、奈良県を中心に、近畿圏の居住者が多い。夏期休暇期間中であるためか、関東・東海地方や四国地方からの来訪者も見られた。

表2. アンケート回答者の居住地の都道府県別比率(%)

居住地の都道府県別別人数

居住地	人
大阪府	68
奈良県	38
和歌山県	11
京都府	9
兵庫県	9
愛知県	5
滋賀県	5
東京都	4
三重県	3
神奈川県	3
千葉県	3
香川県	2
埼玉県	2
石川県	2
岡山県	1
静岡県	1
徳島県	1
未回答	1
総計	168

図2. アンケート回答者居住地の都道府県別比率(%)



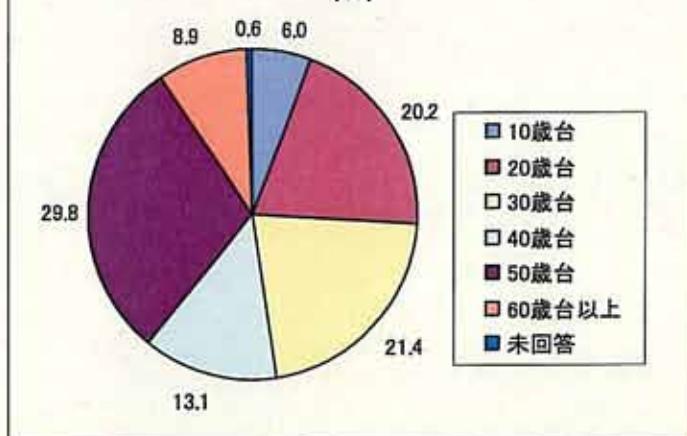
2) 年齢

有効回答者の年齢を 10 歳階級別に集計した結果を示す(表 3・図 3)。回答者の年齢層は、50 歳台が最も多く、次に 30 歳台、20 歳台が続いた。

表3. アンケート回答者の
10 歳年齢階級別人数(人)

年齢	人
10 歳台	10
20 歳台	34
30 歳台	36
40 歳台	22
50 歳台	50
60 歳台以上	15
未回答	1
総計	168

図3. アンケート回答者の10歳年齢階級別比率
(%)



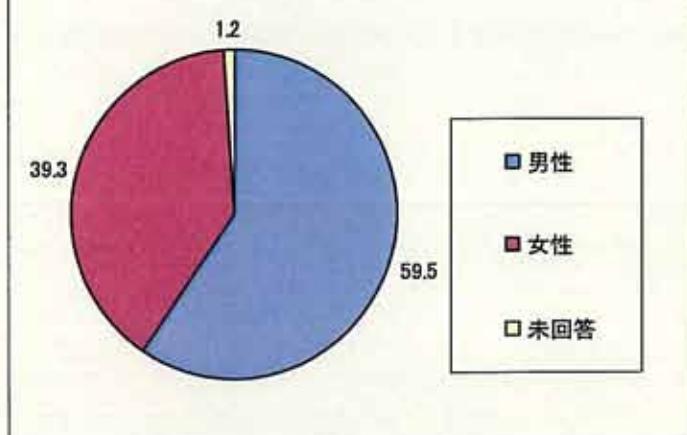
3) 性別

有効回答者の性別の集計結果を示す。回答者の性別割合は男性のほうが高い(表 4・図 4)。

表4. アンケート回答者の
性别人数(人)

性別	人
男性	100
女性	66
未回答	2
総計	168

図4. アンケート回答者の性別比率(%)



(3) 来訪状況

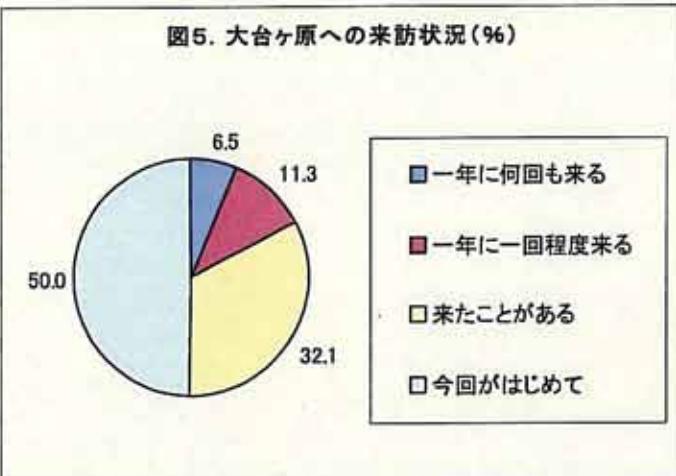
1) 来訪頻度

アンケート回答者合計 168 名の来訪状況について集計した（表 5・図 5）。年に一回以上来訪するリピーターは、全体のうち 17.8% を占めた。はじめて来訪した者は、50% であった。

表5. 大台ヶ原への来訪状況(人)

来訪状況	人
一年に何回も来る	11
一年に一回程度来る	19
来たことがある	54
今回がはじめて	84
総計	168

図5. 大台ヶ原への来訪状況(%)



2) 宿泊状況

アンケート回答者 168 名の宿泊予定および宿泊場所について集計を行った（表 6-1・図 6）。

6 割の来訪者は宿泊せずに日帰りの予定であった。宿泊先では、大台莊が最も多かった。なお、「その他」と答えた者の宿泊場所の内訳（表 6-2）は、「近隣の温泉」、「車内」が多くかった。

表6-1. アンケート回答者の宿泊状況(人)

宿泊場所	人
大台山莊	26
入之波温泉	4
小処温泉	2
杉の湯温泉	0
その他	32
宿泊しない	104
総計	168

図6. アンケート回答者の宿泊状況(%)

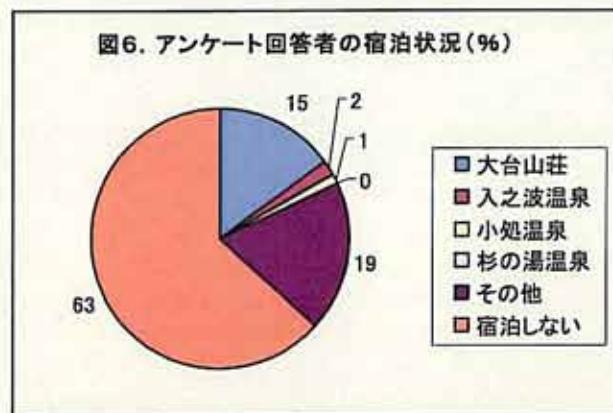


表6-2. 「その他」の宿泊先(人)

宿泊先	人
近場の温泉	11
車内	8
山中(小屋・テント)	4
親戚宅	2
未回答	1
その他	6
小計	32

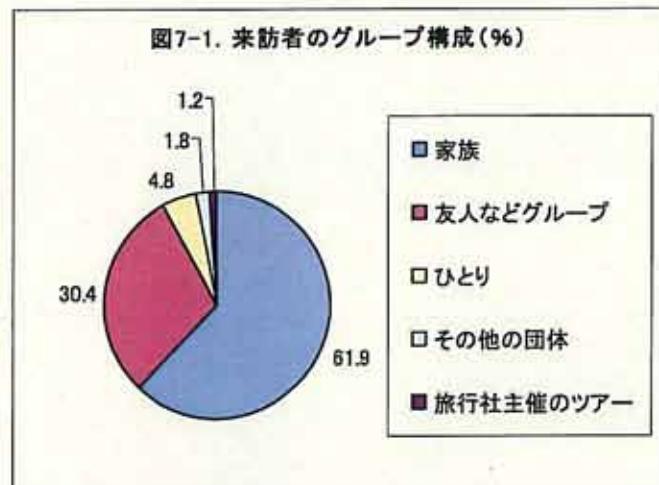
3) 来訪者のグループ構成

回答者のグループ構成について、集計した（表7-1・図7-1）。家族連れが6割を占め、友人などのグループが3割を占めた。団体客はほとんど見られなかった。なお「その他の団体」としては、「親戚」と答えた者が2名、「業務（雨量計の観測）目的で同僚と」来た1名が含まれた。

表7-1. 来訪者のグループ構成(人)

グループ種別	人
家族	104
友人などグループ	51
ひとり	8
その他の団体	3
旅行社主催のツアー	2
総計	168

図7-1. 来訪者のグループ構成(%)

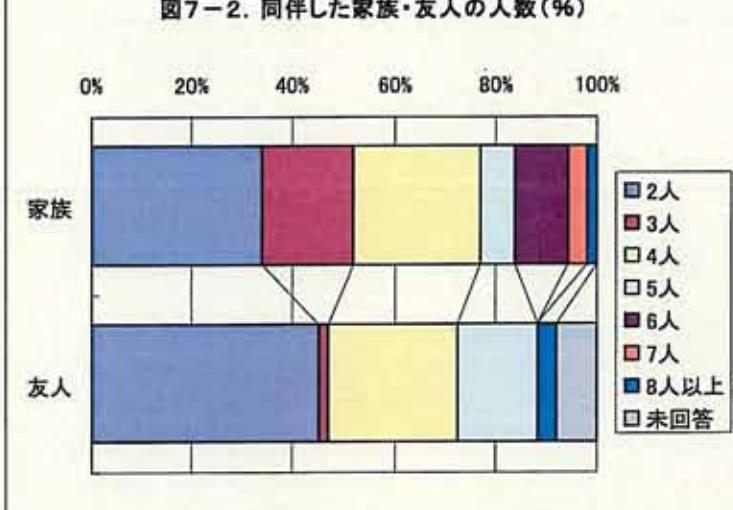


家族連れの来訪者の、家族人数構成別の割合を見ると、2~4人連れが76.9%を占め、友人達と訪れた回答者の同伴人数についても、2~4人連れが72.5%を占めた（表7-2・図7-2）。

表7-2. 同伴した家族・友人の人数(人)

同伴した人数	家族	
35	23	
19	1	
26	13	
7	8	
11	0	
4	0	
2	2	
0	4	
104		

図7-2. 同伴した家族・友人の人数(%)



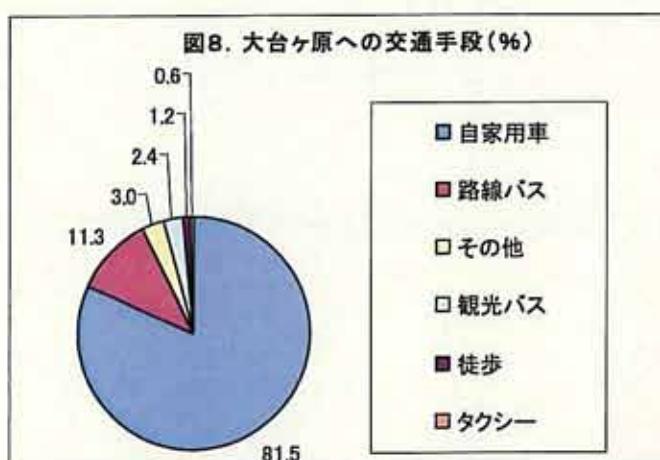
4) 交通手段

来訪者の利用した交通機関について集計した（表8・図8）。自家用車によるアクセスが非常に多く、8割を占めた。次に路線バスによる来訪が多かった。「その他」の交通手段は、バイク（3）、レンタカー（1）、公用車（1）であった。

表8. 大台ヶ原への交通手段(人)

交通手段	人
自家用車	137
路線バス	19
その他	5
観光バス	4
徒步	2
タクシー	1
総計	168

図8. 大台ヶ原への交通手段(%)



(4) 利用ルート

1) 出発地と終着地

来訪者が、徒步で利用するルートの出発地および、終着地について集計した(表9)。出発地・終着地ともに大台ヶ原駐車場がほとんどすべてを占めた。他の登山ルート経由で来訪する者も数名いた。

表9. 出発地と終着地(人)

地点	出発地	終着地
大台ヶ原山頂駐車場	160	161
河合、木和田	0	1
筏場道方面	2	0
未回答	6	6
総計	168	168

2) 立ち寄り地点

来訪者が徒步で利用したルートにおいて、立ち寄った場所について集計した(表10)。

まず、利用した区域を、「東大台」のみ、「西大台」のみ、「東大台・西大台の両方」、「駐車場のみ」、「不明」の5つに分類した。全体の62.5%が東大台を利用したが、西大台の利用は8.9%にとどまった。また、天候が不順であったためか、山中を歩かずに駐車場付近のみで帰った人は28%を占めた。

表10. 利用ルート別人数(人)・その割合(%)

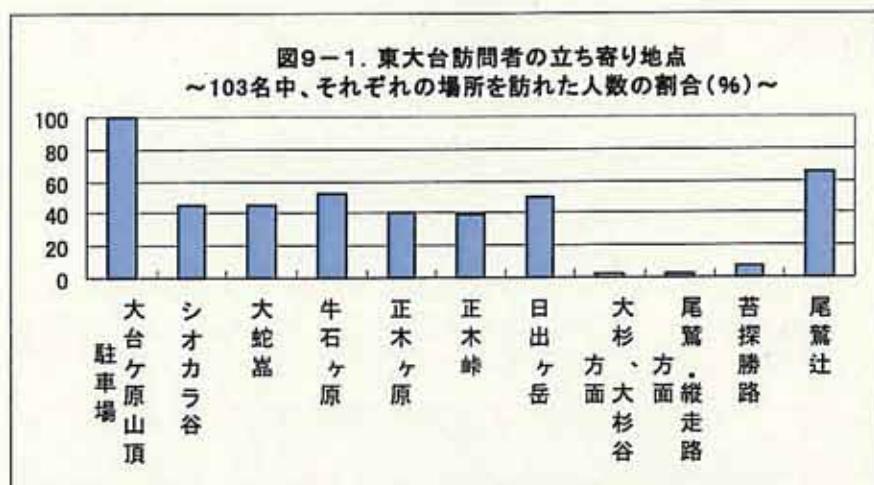
利用ルート	人	%
東大台	101	60.1
西大台	11	6.5
東大台・西大台両方	4	2.4
駐車場のみ	47	28.0
不明	5	3.0
総計	168	100

調査時提示した地図

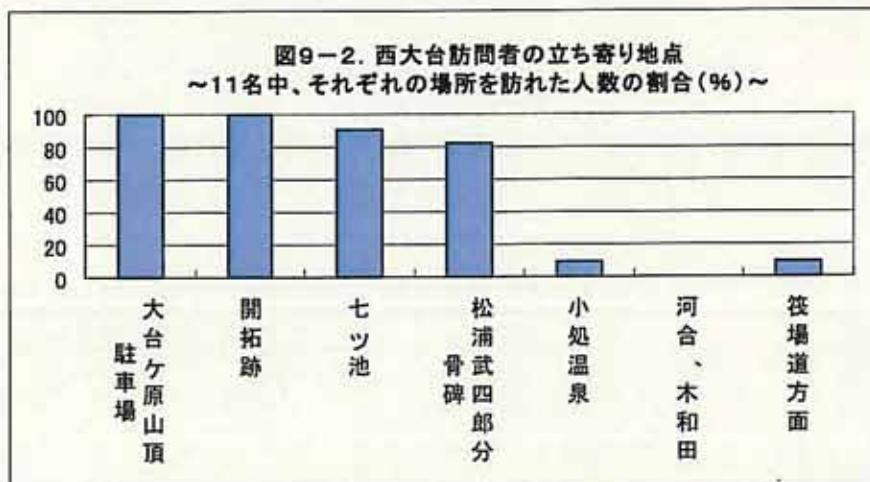


東大台ルートを利用した者 105 名の立ち寄り地点について集計を行った。詳細な行き先が未回答だった 2 名を除いた 103 名について、東大台およびその周辺（計 11 地点）を訪れた割合を図 9-1 に示した。

駐車場を除くと尾鷲辻への立ち寄りが多い。またシオカラから大蛇嵐、日出ヶ岳までの地点へ立ち寄る割合も多くどの地点もほぼ同じ値を示していることから、基本的な周回ルートの利用が多い。



次に、西大台ルートを利用した者 15 名の利用先について集計を行った。詳細な行き先が未回答の 4 名を除いた 11 名について、西大台およびその周辺 6 地点を訪れた割合を図 9-2 に示した。東大台での結果と同様に、このルート上の駐車場以外の 3 地点（開拓跡、七ツ池、分骨碑）については、あまりばらつきはない。



(5) 来訪した動機

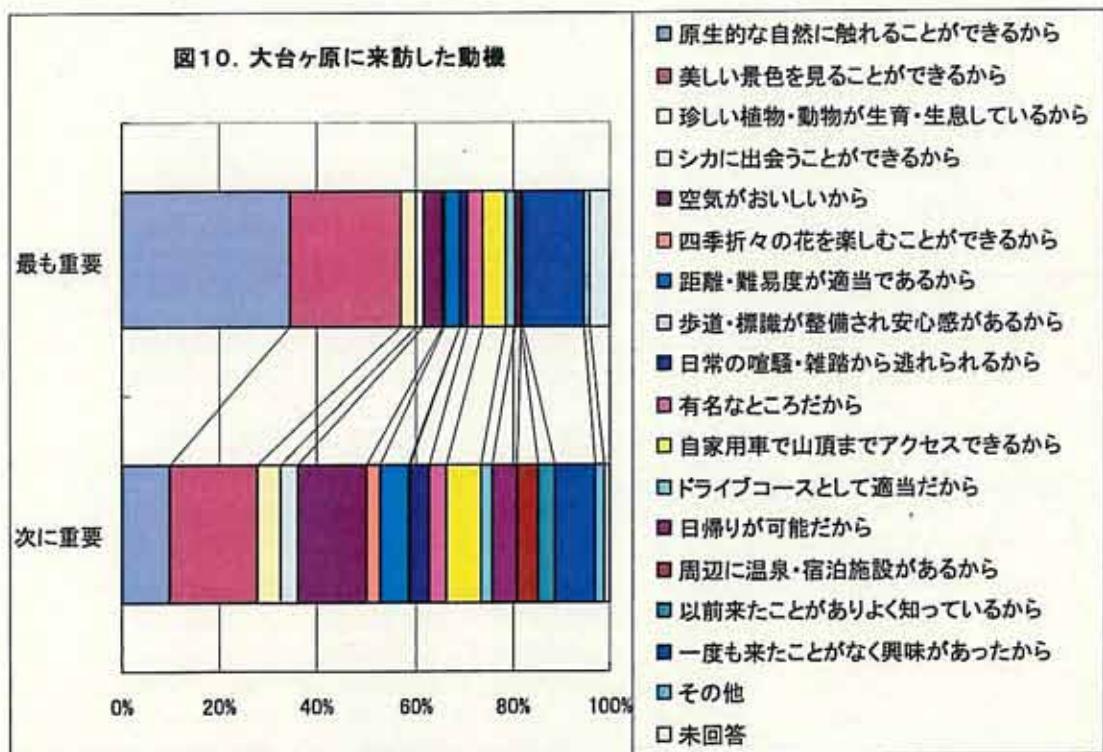
大台ヶ原を訪れた来訪者の動機について集計した。17つの選択肢から最も重要な動機をひとつ選んでもらい、次に重要なものを2つまで答えてもらった（表11・図10）。

最も重要な動機については、「原生的な自然に触れることができるから」が最も多く、およそ3割を占め、次に「美しい景色を見ることができるから」が続き、原生的な自然環境への関心の高さがうかがえた。次に重要な動機については、各項目にばらつきが見られた。前出の2項目に加えて、「空気がおいしいから」等が上位に挙げられた。

「その他」の来訪動機については、最も重要な動機に挙げられたものは「涼しいところに来たかった」(1)「人が少ないところだから」(1)、次に重要な動機としては「幼少のころ来訪し大自然に感動した思い出があり、心の癒しを求めて」(1)、「父が生前、必ず行って来いと言っていたので」(1)、「百名山だから」(1)、「優れた被写体が多い」(1)、「涼しさを求めて」(1)が挙げられた。

表11. 大台ヶ原に来訪した動機(人)

動機	最も重要な動機		次に重要な動機	
	人	(%)	人	(%)
原生的な自然に触れることができるから	58	34.5	33	9.9
美しい景色を見ることができるから	38	22.6	59	17.7
珍しい植物・動物が生育・生息しているから	5	3.0	16	4.8
シカに会えることができるから	3	1.8	12	3.6
空気がおいしいから	6	3.6	46	13.8
四季折々の花を楽しむことができるから	1	0.6	10	3.0
距離・難易度が適当であるから	5	3.0	19	5.7
歩道・標識が整備され安心感があるから	0	0.0	2	0.6
日常の喧騒・雑踏から逃れられるから	3	1.8	13	3.9
有名なところだから	5	3.0	11	3.3
自家用車で山頂までアクセスできるから	8	4.8	23	6.9
ドライブコースとして適当だから	3	1.8	9	2.7
日帰りが可能だから	2	1.2	16	4.8
周辺に温泉・宿泊施設があるから	0	0.0	14	4.2
以前来たことがありよく知っているから	1	0.6	12	3.6
一度も来たことがなく興味があったから	21	12.5	28	8.4
その他	2	1.2	6	1.8
未回答	7	4.2	4	1.2
総計	168	100.0	333	100.0



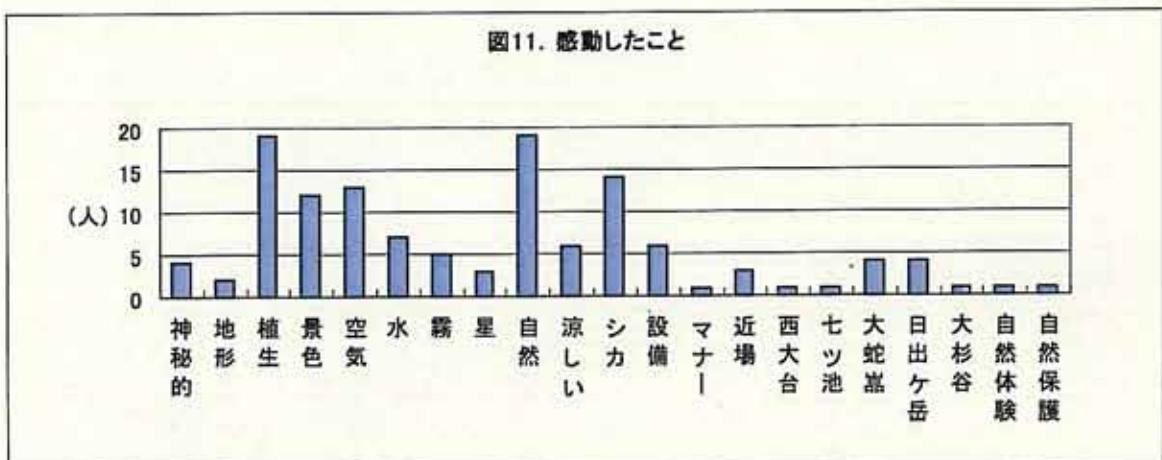
(6) 大台ヶ原を来訪し、感動したことなど（自由記述）

自由記述的回答から、キーワードを拾い出して集計を行った（図11）。

「自然」全体、あるいは「樹木」「苔」「景色」「空気」「水」「霧」「星」「日の出」などさまざまな要素が挙げられており、どれも大台ヶ原の自然の特徴といえる部分に対しての感動であるといえる。また、「シカに会ったこと」を挙げる人も多く、「シカ」との出会いの印象深さが分かる。また、天候が曇り～雨であったことから、「涼しい」という記述、あるいは「霧」の出た雰囲気を「神秘的」と感じている。

地点として挙げられたのは日の出が見られる「日出ヶ岳」、「大蛇嵐」からの景観、「大杉谷」、「西大台」「七ツ池」であった。

また、設備やマナーがよかつたという感想、大都市に近接して原生的な自然に触れられる驚きを述べる人もみられた。



(7) 混雑感

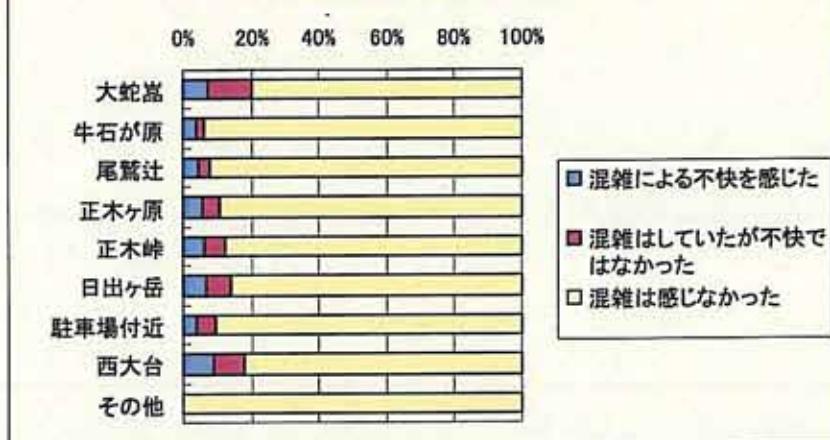
来訪者が歩行で利用したルートにおける混雑感の程度を集計した（表 12-1）。天候が良くなかったこともあってか、全体としてはそれほど混雑による不快感は感じなかったようである。

表12-1. 場所別の混雑感の程度(人)

混雑感の程度	場所								
	大蛇嵐	牛石が原	尾鷲辻	正木ヶ原	正木峠	日出ヶ岳	駐車場付近	西大台	その他
混雑による不快を感じた	3	2	3	2	2	3	6	1	0
混雑はしていたが不快ではなかった	5	1	2	2	2	3	9	1	0
混雑は感じなかった	32	46	58	33	29	37	139	9	3
回答者の総数	40	49	63	37	33	43	154	11	3

図 12 には、未回答者を除外した、混雑感の程度の割合を示した。大蛇嵐、西大台で「混雑による不快を感じた」「混雑はしていたが不快ではなかった」の割合がやや多くなっている。

図12. 場所別の混雑感の割合(%)



「混雑による不快を感じた」と答えた者に、その程度・内容について7つの項目から当てはまるもの全てを選んでもらった（表12-2）。全体的に「大人数の団体がいてうるさかった」が多かった。

表12-2. 場所別の不快感の程度(人)

不快感の程度	場所									総計
	大蛇嵐	牛石ヶ原	尾鷲辻	正木ヶ原	正木峠	日出ヶ岳	駐車場付近	西大台	その他	
周囲に人が多すぎてうっとおしい						1	1			2
自分のペースで歩けない						1				1
ゆっくり鑑賞(写真撮影)できない										0
狭いところですれ違いにくい	1									1
大人数の団体がいてうるさかった	1	1	1	1	1	2	2			9
休憩スペースが確保できなかった			1							1
その他	1	1	1	1	1	1	4	1		11

「その他」の内容としては、以下のようなものが挙げられた。

- ・「狭いところで広がって歩く、ゴミを捨てるなどマナーが悪い」
(大蛇嵐、牛石ヶ原、尾鷲辻、正木ヶ原、正木峠、日出ヶ岳、西大台)
- ・「駐車スペースが少ない。(以前マイカーで来訪したところ、駐車場が一杯で入れずに引き返した)」(駐車場)
- ・「一台で複数台のスペースを利用している。離合できないところに路上駐車している。長時間のアイドリング」(駐車場)
- ・「車が多くてうっとおしい」(駐車場)

(8) 利用マナー

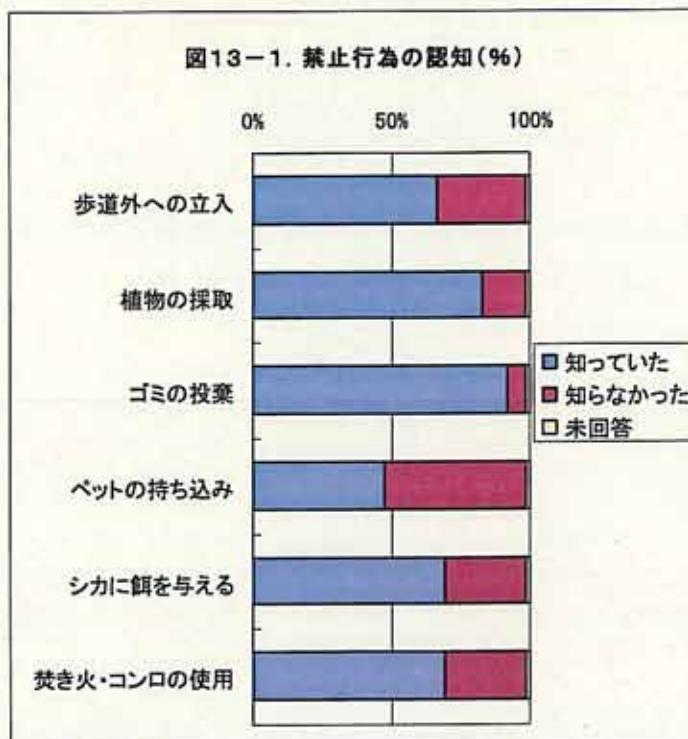
1) 禁止行為の認知

利用上のマナーとして禁止されている行為について、「禁止されていること」を認知しているかどうかについて集計した。「ゴミの投棄」や「植物の採取」については禁止行為であるという認識があったが、ペットの持ち込みについては、禁止行為であると知らないものが5割を超えた。

表13-1. 禁止行為の認知(人)

禁止されている行為	目撲状況			
	知っていた	知らなかった	未回答	総計
歩道外への立入	112	54	2	168
植物の採取	139	27	2	168
ゴミの投棄	154	12	2	168
ペットの持ち込み	79	87	2	168
シカに餌を与える	116	50	2	168
焚き火・コンロの使用	116	50	2	168

図13-1. 禁止行為の認知(%)



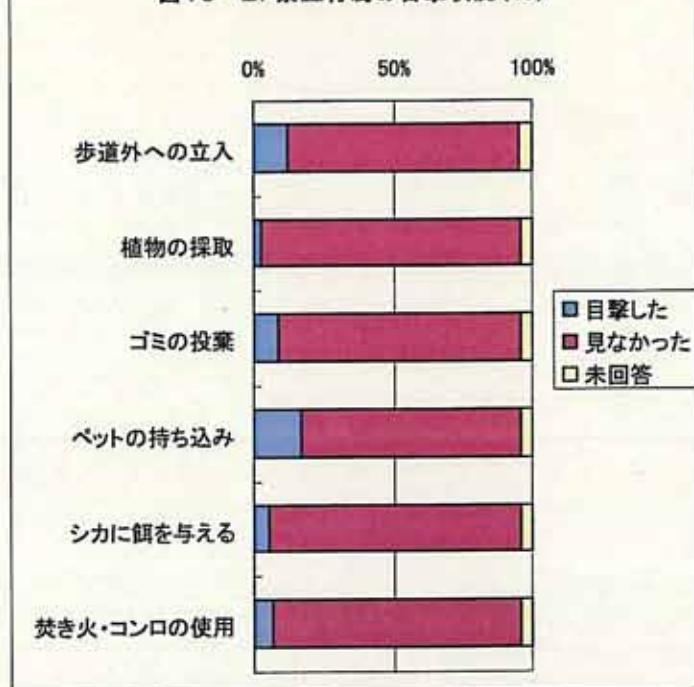
2) - 1 禁止行為の目撃情報

現地で禁止行為を目撃したか否かについて集計を行った。禁止行為であることの認知度の低さからか、「ペットの持ち込み」を目撃したものが比較的多かった。また、「歩道外への立入」については、「悪路をさけるため、やむを得ず（立ち入った）」を申告するものも若干名いた。

表 13-2. 禁止行為の目撃状況(人)

禁止されている行為	目撲状況			
	目撲した	見なかつた	未回答	総計
歩道外への立入	21	139	8	168
植物の採取	5	156	7	168
ゴミの投棄	15	146	7	168
ペットの持ち込み	29	132	7	168
シカに餌を与える	9	152	7	168
焚き火・コンロの使用	11	150	7	168

図 13-2. 禁止行為の目撃状況(%)



2) - 2 目撃場所

禁止行為を目撃した場合、その場所について回答してもらい、その結果を集計した。

表13-3. 禁止行為の目撃場所

目撃場所	歩道外への立入	植物の採取	ゴミの投棄	ペットの持ち込み	シカに餌を与える	焚き火・コンロの使用
大台ヶ原山頂駐車場	1	1	2	11	0	3
シオカラ峠	3	0	1	1	0	1
大蛇嵐	2	0	0	0	0	1
牛石ヶ原	8	1	3	4	1	3
正木ヶ原	7	1	2	7	6	1
正木峠	6	1	2	2	0	0
日出ヶ岳	1	0	2	3	3	2
開拓跡	1	2	1	0	0	1
七ツ池	4	0	2	0	0	1
ナゴヤ谷	0	0	0	0	0	0
その他	6	2	6	8	0	3
総計	39	8	21	36	10	16

「その他」については、

「歩道外への立入」(尾鷲辻(2)、中道(1)、不明(3))

「植物の採取」(ドライブウェイ(1)、不明(1))

「ゴミの投棄」(たら亭(2)、牛石ヶ原～尾鷲辻の間(1)、中道(1)、不明(2))

「ペットの持ち込み」(尾鷲辻(2)、つり橋付近(3)、不明(4))

「焚き火・コンロの使用」

(尾鷲辻(1)、至尾鷲辻縦走路方面(1)、川上辻・ドライブウェイ・東の滝他(1))

等が挙げられた。

また、以上に上げた禁止行為のほかにマナー違反であると思う行為を目撃した場合には、その行為の内容と、目撃場所を答えてもらった。

以下のような回答があった。

・「ハイキングコースでのくわえタバコ(2)」

・「シオカラ橋で誰かが釣りをしていた。気づかれると上流のほうに逃げた。(1)」

・「日出ヶ岳の展望台近くのベンチ下に、タバコの吸殻が捨てており、非常に目立った。(1)」

3) マナー啓発を促す掲示板の効果

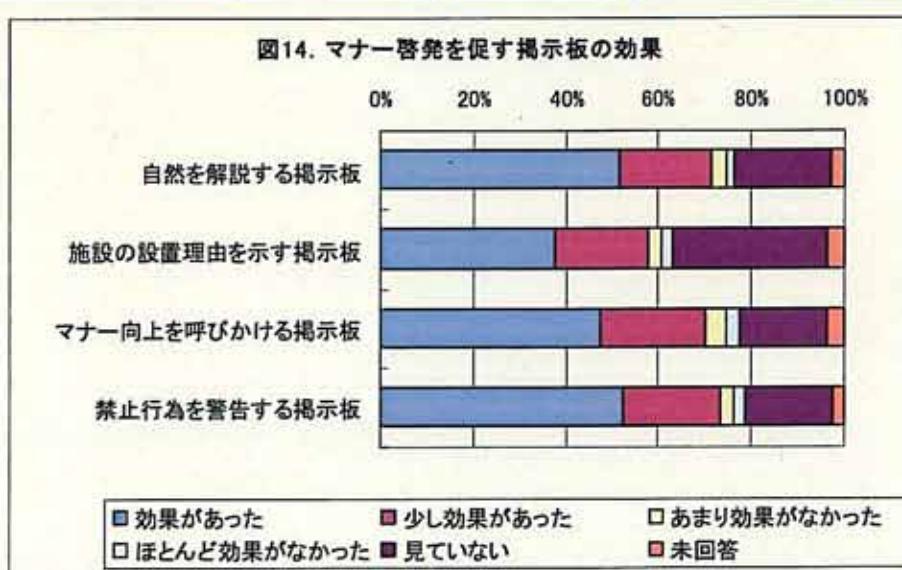
マナー啓発を促す各種掲示板の効果について、集計を行った。

「自然を解説する掲示板」「マナー向上を呼びかける掲示板」「禁止行為を警告する掲示板」については、「効果があった」、「少し効果があった」と答えた人が70%を越えた。その一方で、「見ていない」との答えも多く見られた。

表14. マナー啓発を促す掲示板の効果(人)

効果	自然を解説する掲示板	施設の設置理由についての掲示板	マナー向上を呼びかける掲示板	禁止行為を警告する掲示板
効果があった	87	63	80	88
少し効果があった	33	34	38	35
あまり効果がなかった	5	5	7	5
ほとんど効果がなかった	3	4	5	4
見ていない	35	56	32	32
未回答	5	6	6	4
総計	168	168	168	168

図14. マナー啓発を促す掲示板の効果



(9) 啓発手法

利用者のマナー向上のための手法について、集計した。なお、各選択肢の詳細は、以下のとおりである。

「展示・パンフレット」…「ビジターセンターでの展示やパンフレットによる情報提供の充実を図る」

「自然観察会・講演会」…「自然観察会や講演会を開催して、自然環境保全上の課題をアピールする」

「標識・掲示板」…「散策ルート周辺に標識や案内板を立て、自然環境をめぐる課題について情報提供する」

「レンジャー・ボランティアの巡回」…「レンジャーやボランティアが巡回する」

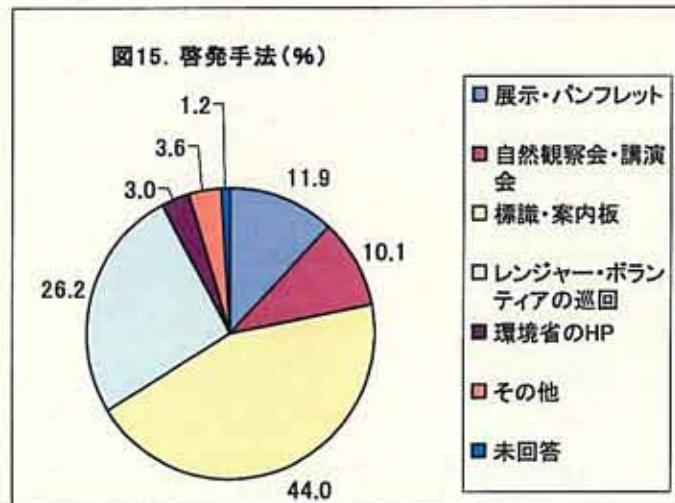
「環境省のHP」…「環境省のホームページで情報提供する」

「標識や案内板」によるマナーの啓発が好ましいという意見が4割以上を占めた。「レンジャー・ボランティアの巡回」への期待も高まっている。

表 15. 啓発手法

啓発手法	人
展示・パンフレット	20
自然観察会・講演会	17
標識・案内板	74
レンジャー・ボランティアの巡回	44
環境省のHP	5
その他	6
未回答	2
総計	168

図 15. 啓発手法(%)



また、「その他」の意見としては、「国立公園なのだから、来訪者にももっと厳しい教育が必要。自然の大切さを教えるビデオを鑑賞してからでないと立入禁止にすべき。(1)」、「マナー啓発を促すゴミ袋を配布する(1)」などの意見がある一方で、「啓発活動を行ってもマナーを守らない人はいる。結局は個々人の常識の問題である。(2)」、「案内板、禁止表示以外の看板は必要ない。マナーについては、個人の責任であり、当たり前の表示は不要(1)」、「大台に来る人は自然を愛する人ばかり。自然環境保全上の問題はない。(鹿の方が重大。)(1)」、等の声もあった。

(10) 適正化手法

オーバーユースによる自然環境への悪影響を緩和するために、どのように対応すべきか、回答してもらった。なお、各選択肢の詳細は、以下のとおりである。

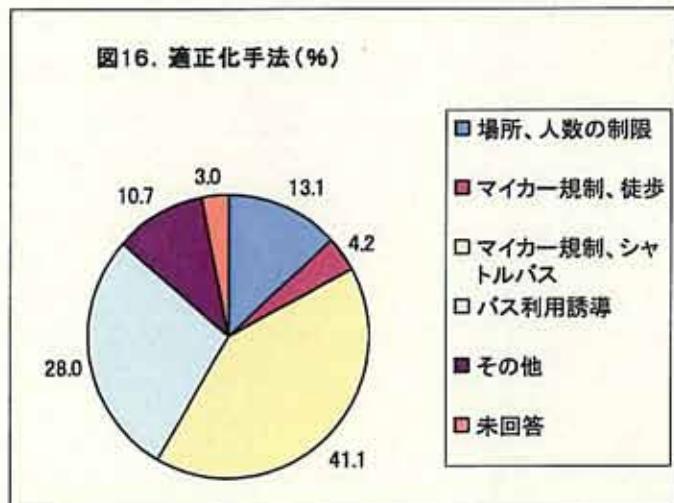
- 「場所・人数の制限」…「利用できる場所や人数の上限を定めるなどの利用制限を行う」
- 「マイカー規制、徒歩」…「ドライブウェイへのマイカー乗り入れを禁止し、徒歩での利用に限る」
- 「マイカー規制、シャトルバス」…「ドライブウェイへのマイカー乗り入れを禁止し、麓の駐車場からシャトルバスを運行する」
- 「バス利用誘導」…「路線バスの運行便数を増やし、バス利用を誘導する」

「マイカー規制、シャトルバス」が4割を占めた。また、「バス利用誘導も3割近くを占め、公共交通機関の活用が望ましいと言う意見が多かった。

表16. 適正化手法

適正化手法	人
場所、人数の制限	22
マイカー規制、徒歩	7
マイカー規制、シャトルバス	69
バス利用誘導	47
その他	18
未回答	5
総計	168

図16. 適正化手法(%)



また、その他の意見としては、「混雑などで環境に悪影響があつても、この大自然に触ることで各自の（自然に対する）意識がかわるかもしれない（1）」、「マイカー利用は非常に便利であり、規制は不要（4）」という現状維持型の意見、「道路・駐車場を広げる（4）」、「違法駐車の取締りを厳しくする（1）」という利用拡張型の意見、「低公害型の車を利用（2）」、「ディーゼル車の乗り入れ禁止（1）」、「利用可能な期間・時間帯の設定（2）」、「管理者の数を増やす（1）」などの工夫を求める意見があった。また「ドライブウェイを通行禁止にし、来たい人は麓から徒歩で歩く。それくらい厳しくしないと自然は守れない（1）」という声もあった。

(11) 規制による需要の変化予測

夏季の混雑期（調査日を含む8月14～17日）に、マイカー規制や利用者数制限などの利用制限を行っていたとしたら、大台ヶ原を予定通りに訪問するかどうか、について集計した。47%の人は「予定通り訪問する」が、51.8%は「予定を中止・変更」を選んだ。

表17-1. 規制による需要の変化予測(人)

変化予測	人
予定通り訪れる	79
予定を中止・訪れない	87
未回答	2
総計	168

「予定通り訪問する」を選んだ79名の、利用手段を集計した。54.4%が「マイカーを籠に止めてシャトルバス」を選んだ。

表17-2. 「予定通り訪れる」場合の利用手段(人)

利用手段	人
もともと電車・バスのみを利用する予定だったので変更はない	15
マイカー利用予定だったが電車とバスに変更	14
マイカーを籠に駐車しシャトルバスを利用	43
マイカーを籠に駐車し徒步	4
その他	3
総計	79

「予定を中止・変更」を選んだ87名の、行動について集計した。規制のない日を選んで来訪すると答えた者が、87.4%を占めた。「その他」としては「実際にその時にならないと決められない」という意見であった。

表17-3. 「予定と中止・変更し大台ヶ原を訪れない」場合に

とる行動(人)

行動	人
予定を延期、規制のない日に大台に来る	76
大台ヶ原への来訪を中止する	9
その他	1
未回答	1
総計	87

(12) 大台ヶ原の自然環境の保護・再生と利用ならびに学習について（自由記述）

■自然環境について（学習・啓発）

①学習

- ・各自が自然を大切にしてほしい。自然はみんなの財産であるから。
- ・自然はいつまでも残しておかないといけないとは思うが、実感が湧かず、これから自身、勉強していかないといけないと思う。
- ・すべての利用者がもっと自然について考えるときだと思います。
- ・一人一人の自然を大切にしようとする意識が重要だと思います。
- ・自然を破壊しているのは、人間ではなく、鹿だと思います。大台を訪れる人は自然を愛する人ばかりと思いますので過度の練習は不要と思います。
- ・自然を大切にして欲しい。協力できることがあれば環境保護のために協力したいと思う。
- ・自然を大切にしたい。
- ・自然観察会の人達と一緒にいろいろな話を聞きながら散策をする。

②啓発

- ・政府が国立公園の大切さをもっと様々な機会（学校など）で知らせて、皆の意識を高める努力をして欲しい。
- ・次の世代を担う子供たちにも、自然のすばらしさや厳しさを学ぶ機会をつくってあげ、そのために自然環境にとってどのようなことがいいのかを考えることが必要である。
- ・こんなにすばらしい自然を、学校やイベントなどで紹介し、自然保護の意識を高めるようにしたいですね。
- ・私を含め、自然に対するマナーが良くわからない人が多いと思います。いかに自然が大切かということをパンフレット等で知らせていただければより良い自然が守れるよう気がいたします。
- ・学校での総合学習などに取り入れたらどうでしょうか？

■マナーについて

- ・ゴミがなかった。
- ・どんな小さなゴミでも捨うようにすればよい。
- ・ゴミの問題などを徹底して欲しい。
- ・ルートに飲み物以外のガム等の食物を持ち込みはゴミ捨ての原因につながると思います。
- ・一人一人が自然のマナーに気をつける。
- ・最近は自分ひとりならいいか、とマナーを守らない方が多いので、テレビの宣伝等で環境保護をうたえるといいと思います。

■現状維持・開発について

- ・とりあえずは現状のままでよい。
- ・むやみに自然破壊しないでほしい。
- ・環境は保たれている。

- ・このまま自然が壊れないように、維持して欲しい。
- ・大台ヶ原をPRして人が押し寄せるよりは、今までよい。
- ・なるべく自然のままで残しておいて、少し手を入れるようにしていいかと思う。
- ・自然保护という言葉のもとに必要以上に人工の手を加えすぎの点もある。保護区域は完全に自然の成り行きのままにすべき点もあると思います。
- ・観光地のアピールはそこそこにひかえ、子供や自然に自ら関心・興味のある方に接していただき、良さを伝え、モラルと自然に対する優しさを持って来山してもらえたなら、大台ヶ原にとっても他の自然にとっても、人間の心にある感を良くできるのではないかでしょうか。

■規制について

- ・車で上までこられるという便利さはあるが、自然を守るために規制もやむをえない。
- ・もし大台ヶ原の自然を保護するなら、東コース、西コース等どちらか1年間立ち入り禁止にしてはどうですか？
- ・（シャトルバスについて）あまり乗り換えが多いと困る。
- ・日本は国立公園については非常に甘い。自然は一度壊れたら元に戻るのにすごい年月が掛かる。本当の意味で自然を大切にするならば、もっと立入を制限すべきだ！こんな標高1500mの高地にマイカーで来れるなどは許されない事だ。
- ・犬はダメなら、入り口で禁止すべきです。

■保全対策について

- ・シカ等の確実な頭数管理（定期的な頭数削減）。
- ・植生保護用の柵を大型化、多数化。
- ・枯れ木の保護に力を入れていただきたい。

■設備の強化について

①看板の増設

- ・歩きながらの勉強できる看板がいっぱいあればいいなと思いました。
- ・コースによるが、見所のPRが少ないように思った。植物などの名前など、できる限り表示してもらったほうが興味もUPすると思う。
- ・できるだけ自然のままの姿を残して欲しいと思う反面、掲示板や表示の必要性も思うので、そのバランスが難しい。調和の取れた表示などを配慮していただけたらありがたいです。
- ・立看板数を増やし、環境保護を喚起させる。
- ・西大台に看板をつけて欲しい。行ってみたいから。
- ・道がわかりにくいでロープなどに目印をつける等の処置をしてほしい。

②道の整備

- ・遊歩道のさらなる整備。
- ・日出が岳の階段が歩きにくかった。

- ・ぬかるみが多い。道路、歩道をよくして欲しい。
- ・尾瀬の諸規則のようにもうすこし厳しくなってよい。今後、高齢者のものが増すであろう。こういう人の扱いを考えなくては。健康支援。道路整備等。
- ・歩道が歩きにくい。
- ・景観の良い所の木道の充実をはかる。(三津河落等)
- ・歩くルートが絞られればいろんな道ができなくてすむと思うので、もう少し舗装なり手すりなどがあればいいなと思いました。

③トイレの整備

- ・途中に洗面所があればよい。
- ・剣山では頂上でのトイレの問題があり、ここは散策ルートにはトイレを設置していないのはいいのですが、(入り口にでも) 注意板等が欲しかった。尾鷲辻からの帰路大変でした。
- ・トイレの使用について、1回100円というのは高額だと思う。1日100円までまけて欲しい。
- ・トイレの有料化

■経費について

- ・駐車場代を取る。
- ・ドライブウェイを有料にし、それを大台ヶ原の自然保護に役立てる。
- ・パトロールや山の歩道のメンテ要員を予算のゆるす限り増やすべきで、予算が不足の場合、入山料(¥1000/1人程度)を取るなどの手を打つたらどうでしょうか。

■サービスについて

- ・地図が有料になっていますが、大きな地図を出すサービスがあつても良いのではないか。
- ・ビジターセンターはすばらしかった。無料であり、映画もすばらしい

■その他

- ・30年前に来たが、森林の様子が変わっているのを見てびっくりした。
- ・思ったより人が少ない。
- ・20年来毎夏、大台ヶ原へ来ていますが、来場者が激減しているのではないか?→不況の影響なのか、若者が来なくなったのか?
- ・冬期にも来られるようになれば良い。
- ・自然環境、生態系がこんなに崩れているとは知りませんでした。
- ・国道からの入り口が少し狭いのでわかりづらい。もう少し何とかしてください。
- ・帰り道で温泉に寄りたいので荷物が多くなるからバスは使いたくない。
- ・わりばしの使い捨てはもったいない。普通のおはしで洗って使いまわしてほしい。
- ・大台荘の食事(朝・夕)について一山の上でのことで大変だと思うし、また宿泊料金も安いから仕方ないと思うが、夜のおかずがいつも同じなのはどうかと思う。朝は満足していますが、夜の献立はもっと工夫してほしい。